

CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

11

2021
vol.538



コロンビアの至宝エメラルドとアンデス山脈にちなみ、
宝石のような希少価値を持つ高級豆という意味が名前に込められています。

今月の
コーヒー

11月のおすすめ

エメラルドマウンテン

—— コロンビア



コロンビアが誇る、コーヒーの至宝

エメラルドマウンテンは、コロンビアコーヒー全生産量の中でも、厳選されたわずか1%未満の高級豆です。甘い香りと心地よい酸味、まろやかなコクが広がります。

コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2021年
11月版

米中物流、海上運賃6倍に

アメリカ最大の輸出品は“空気”?



新型コロナウイルスの再拡大による物流網の混乱が長期化しています。「最大の輸出品は“空気”と言える状態だ」と発言したのは、ロサンゼルス港湾局のセレス局長。アメリカから日本へ輸出するより、中国へ「カラ」のコンテナを運ぶ方が儲かるというおかしい状況が発生しているとのこと。その理由は、アメリカでの経済再開による急激な需要増と、ここぞとばかりに応えたい中国の動きにあります。

アメリカでは早々にワクチン接種が始まり、感染の鎮静化が見られるやいなや、それまで停滞していた消費のマグマが一気に爆発。これにいち早く応じたのが中国です。アメリカの旺盛な需要に応え、大量に商品を輸出したい中国。中国から荷物を積んだコンテナは、アメリカで荷下ろしが済むと、空のままで中国に回送するという現象が起きています。その結果、日本向けの輸出入貨物が大幅に遅れるという、いわゆる“日本飛ばし”が発生しています。

アメリカと中国では入港待ちのコンテナ船があふれ、港湾の物流は渋滞中。人手不足も重なり、中国・アメリカ間のコンテナ輸送費は、コロナ危機前に比べ6倍以上急騰しています。運賃高騰と荷動き渋滞による機会損失は企業収益や世界景気の足枷になりかねず、多くの輸入品の価格上昇に影響しています。

英断? 無謀?

中米エルサルバドル ビットコインを法定通貨に



中米中央に位置するエルサルバドル共和国は、小さいながらもコーヒー生産が非常に盛んな国です。火山が20以上ある火山国でもあり、コーヒー栽培に適した環境を有しています。スペシャルティコーヒーにいち早く力を入れるなど、国全体でおいしいコーヒー作りに取り組んでいます。そんなエルサルバドルが9月、国公認の通貨として暗号資産（仮想通貨）ビットコインの使用を開始。世界初の試みです。先端技術に通じたブケレ大統領は、ビットコインの法定通貨化によって、国民は送金手数料を年間約4億ドル節約できると説明していますが、専門家からはデータ保護やビットコイン相場の急変動などの懸念があると指摘されています。街中にビットコイン用ATMの設置が始まっていますが、特に高齢者が置き去りにされる恐れがあると心配されています。果たして今回の政府の決断は先進的な英断か、それとも無謀な賭けなのか世界が注目しています。

エルサルバドル共和国

国名は「救世主」の意味。人口650万人。面積は四国と同程度。輸出品はコーヒー、砂糖など。1978年までコーヒー生産量はブラジル、コロンビアに次いで世界第3位。親日国であり、1970年代には、毎年サルバドル産コーヒーの拡販のためにチャーター便を用意し、日本からのコーヒー使節団を毎回100名近く招聘していました。しかし1979年から10年に及ぶ内戦の結果、日本との交流事業は途絶え、コーヒー生産量は1割にまで減少、今日に至っています。

JR東日本とシンガポールのスタートアップ

無人カフェでロボがバリスタに



JR東日本は、ロボットが全自動でコーヒーを提供する「無人カフェ」の実験店を12月に東京駅と横浜駅でスタートします。ドリンク抽出は、シンガポールのスタートアップ企業が開発したロボバリスタ「エラ(Ella)」が行います。「エラ」はロボットアームを素早く正確な動作で作動させ、1時間当たり約200杯のコーヒーを提供。利用客はスマホからアプリで注文しクレジット決済したり、その場でタッチパネルから注文し交通系ICカードで決済することも可能に。エキナカでの新感覚のコーヒーサービス提供は、人手不足の解消や飲食店舗の収支構造の改善といった課題を解決、コロナ禍で高まった非接触・非対面ニーズへの対応が見込まれています。

(会長 服部卓也)

認証コーヒーの認知度が10年で向上！

今現在だけではなく、将来のことも考え、自然環境や人々の生活を良好な状態に保つことを目指して生産・流通されたコーヒーを「サステナブル(＝持続可能性)コーヒー」と呼びます。環境保護団体を含む様々な機関・団体が「サステナブルコーヒー」を広める活動を行っており、各組織が認証制度を持っていることから「認証コーヒー」とも呼ばれています。

現在、日本で主に流通している認証コーヒーは以下の4種類です。

オーガニック(有機)



化学肥料や農薬、遺伝子組み替えに頼らず、自然そのものの力を十分に活かして栽培されるコーヒー

フェアトレード



経済的、社会的に弱い立場にある発展途上国の生産者に対しても、適正価格で継続的な取引することを目的としたコーヒー

レインフォレストアライアンス



熱帯雨林の保護を目的に、農園周辺の生態系の保護、農薬の使用規制など、地球環境の保全を目的としたコーヒー

バードフレンドリー



熱帯森林を利用した木陰栽培、かつ有機栽培で生産されたコーヒーをプレミアム価格で買い取り、農家を支援しながら森林伐採も防止し、そこで休む渡り鳥を守るプログラム

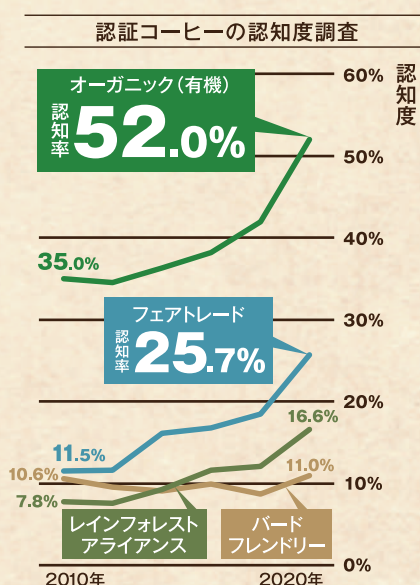
有機は1.5倍、フェアトレードは2.2倍も認知度が向上

各認証コーヒーの認知度はこの10年間で大幅に向上しました。オーガニック(有機)コーヒーの認知度は10年前でも1/3ありましたが、20年調査では遂に半数を超えました。認知度の伸び率ではフェアトレード認証が2.2倍と、最近関心の高い「SDGs」との親和性も高く、これからの躍進が期待されます。

弊社でも有機コーヒー、フェアトレードコーヒーの問い合わせが年々増加しております。営業担当までお問い合わせください。

【弊社取り扱い認証コーヒー】

- ・有機ペルー アルト・アンデス
- ・有機フェアトレード グアテマラ
- ・有機エチオピア・モカ シャキツソ
- ・有機メキシコ デカフェ



名古屋愛珈琲バッグセットが 名古屋市の「ふるさと納税」返礼品に採用

「都会に住んでいても、自分を育ててくれた「ふるさと」に納税できる制度があっても良いのでは」という思いから、2008年に始まった「ふるさと納税」。実際の「ふるさと」に限らず、応援したい自治体へも寄付できます。寄付金は税金の還付・控除が受けられることに加え、返礼品として自治体から特産品や宿泊券などがもらえることで人気の制度。この度、名古屋市は同市の魅力発信や地域振興につながる、名古屋ならではの商品やサービスを提供する事業者を募集し、弊社の「名古屋愛珈琲バッグセット」が採用されました。

【名古屋愛珈琲バッグセット】

- 中日ドラゴンズ認定のコーヒーバッグ
(2種類×3杯分)
- 名古屋弁コーヒーバッグ(6杯分)



ナゴヤドームで販売中のドアラのブレンドコーヒーと、「ちんちん、でら、うみやー……」喫茶店にちなんだ名古屋弁を愛らしいイラストで紹介する名古屋弁コーヒーバッグのセット。ドラゴンズファンや名古屋に縁のある方に「ふるさと」を思いながらコーヒーを飲んでいただきたいです。弊社ギフトの中でも好評販売中。

予約受付中! 干支せんべい・干支チョコレート

今年一年の感謝の気持ちと、新年へのご愛顧を込めて、来年の干支「寅」があらわれたせんべいとチョコレートを販売します。数量限定のため、お早めにご注文ください。

干支せんべい

- ・寅の焼印をあしらったせんべいです。
- ・80枚入り

特別価格 **2,640円**



干支チョコレート

先着10セット限定販売

- ・5g×10個×10箱

特別価格 **1,925円**



注文締切: 2021年11月19日(金) お届け: 2021年12月中旬

▼ご注文の際はこちらの注文書をご利用ください。

干支せんべい・干支チョコレート 注文書

ご注文日: 2021年 月 日

商品名	価格(税込)	数量	金額	お客様名
干支せんべい	2,640円			
干支チョコレート	1,925円			

冬ブレンド「^{じょう}醸」 ドリップバッグも発売開始!

お店で提供するコーヒーにも、季節感を演出してはいかがでしょうか? 「冬ブレンド“醸”」は、寒く張り詰め凛とした“冬”をイメージしたブレンドで、「キレのある酸味とほろ苦いコク」が特徴です。ブレンドの軸としたタンザニアには、高品質の証“キボー(KIBO)”の名を冠したスペシャルティ規格のコーヒーを使用しています。

冬季限定コーヒー「醸」

袋タイプ 内容量:200g(豆)
ドリップバッグタイプ 内容量:10g(粉)
販売期間:2021年12月1日~2022年2月末
納品期間:2021年11月中旬~2022年2月中旬

※試飲用として40gをご用意しています。
※詳しくは営業担当までお尋ねください。



ブラジル カフェデラス ~彼女たちのコーヒー~

「カフェデラス」は、世界各国の女性コーヒー生産者を応援するプロジェクト。

- 丁寧な仕事ときめ細やかな品質管理
- 家族や従業員の教育、健康を第一に考える思いやり
- 新技術や改善に積極的に取り組む勤勉さ



女性生産者の活躍なくして、美味しいコーヒーは飲めません。今回のカフェデラスプロジェクトに合わせて、焙煎も弊社の女性スタッフが担当しました。

焙煎担当者コメント

母なる大地の恵み、忙しい日々の中ホッと自分に戻れる時間をコンセプトに女性の持つ繊細な柔らかさと、優しい強さをイメージして焙煎しました。



女性らしい仕事で作られた「カフェデラス」は、ナッツのようなフレーバーで、柔らかな口あたりの心地よいコーヒーです。数量限定のため、お早めにお問い合わせください。

好評! 口座引落サービス

月々のお支払いを便利で確実な**口座振替**で手間要らず

便利

金融機関へ行き、
振込手続き・操作
の手間なし

確実

支払い忘れや
金額の間違いなど
心配なし

**手数料
0円**

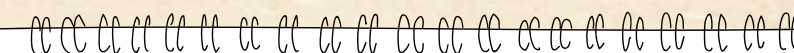
利用にあたり
手数料なし

お客様にご利用いただいている売掛金の口座引落サービス。ご利用のお客様からは「便利になった」「現金を準備しなくても良い」などの声をいただき、好評です。まだご利用されていないお客様は、一度担当営業にご相談ください。

総務部・経理課 ☎052-741-3066

干支せんべい・干支チョコレート 注文書 弊社記入欄

番号	
CCS担当	課 ()



新メニューのアイデアにどうぞ!
直営店のイチオシメニュー

バニラアイスに
マロンホイップと
渋皮栗で秋の味覚



ワッフル生地は
国産小麦使用

モンブランワッフル

単品 ¥440(税込) 詳しくは営業担当へお問い合わせください。



「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

12月のおすすめ

ブルーマウンテンNo.1ブレンド

—— ジャマイカ



コーヒーの王様、ジャマイカ産ブルーマウンテンNo.1を賢沢に使用

ブルーマウンテンが栽培される地区は、午前中はカリブ海の日光で気温が上昇し、午後は霧で日光が柔らかく遮られ気温が下がります。「美味しいコーヒー」に生育する大きな条件に15～30℃で栽培することが挙げられますが、ジャマイカでは霧が樹々を覆うことで急激に気温が下がり、コーヒーの葉や実には結露が発生します。そのため降雨が少なくても、樹々は乾燥のダメージを受けなくて済むわけです。カリブの太陽と豊かな自然、陽気なジャマイカの人々によってブルーマウンテンは育てられています。



抽出方法 ペーパー サイフォン ネル

詳しくは営業担当までお問い合わせください。

CCS
70周年
企画

ボン・ボヤージュ

コーヒー新時代を目指して -23-

1973(昭和48)年当時‘21世紀はブラジルの時代’になると巷間言われていた。世界7位の国土(日本の25倍)、アマゾンに代表される未開拓の資源、世界中から集まった民族の大集合国家等、これらを勘案すれば今後数十年後には世界に冠たる国家になるだろう…。あれから半世紀、ブラジルは滑走路の手前で、いつ離陸するのか分からない状態のままのように見える。

最近では、トランプ大統領流のボルソナ大統領の登場により、コロナ対策も不十分で感染者数は2,150万人超と世界3位、死者は60万人とアメリカに次ぎ世界2位。地域国家としては最悪の数字を示している。生活面での‘大きすぎる所

得格差’は放置されたままである。こうした環境下でも、人々は日々の暮らしを楽しみ、休日には‘サッカー’や‘サンバ’に熱狂する姿を目にするたびに、資金援助をしている我が方としては複雑な思いに囚われざるを得ない。

‘アステ・マニヤン’と言われる、フーテンの寅さんのセリフではないが‘明日は、明日の風が吹く’的な生き方も、人生の選択肢の一つかと思わざるを得ない心境であった。親的な人々の中での2年間のコーヒー研修を終え、‘アスタルエゴ’(又いつか…)の思いを抱きつつ、1973(昭和48)年7月、サンパウロ・コンゴニア空港からブラジルを後にした。

(会長 服部卓也)



編集後記

秋に入り過ごしやすい気候になりました。最近は時間に余裕があると仕事終わりに歩いて帰るようにしています。家までは歩いて1時間ほどですが、その途中で素敵な喫茶店を見つけたり、金木犀の香りを嗅ぎながら歩くのはとても楽しいです。電車の混雑を避けるのが目的でしたが、日々の楽しみになりつつあります。今月もお読みいただきありがとうございました。